

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成28年4～6月期の景況／平成28年7～9月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、前期より回復傾向にある

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2016年4～6月期の実績と2016年7～9月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から9.53%の上昇となった。業種別では建設業が前回の▲14.8%から▲3.3%に回復したが、製造業は▲31.8%から▲60.0%、卸売業は▲15.8%から▲23.5%へと悪化し、小売業は▲29.4%から▲20.0%と回復し、サービス業においては▲30.4%から21.7%へと飛躍的に回復したという結果となった。

来期の新規設備投資については、5.6%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、製造業と卸売業で「需要の停滞」、小売業とサービス業で『消費者ニーズの変化への対応』が上位となった。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

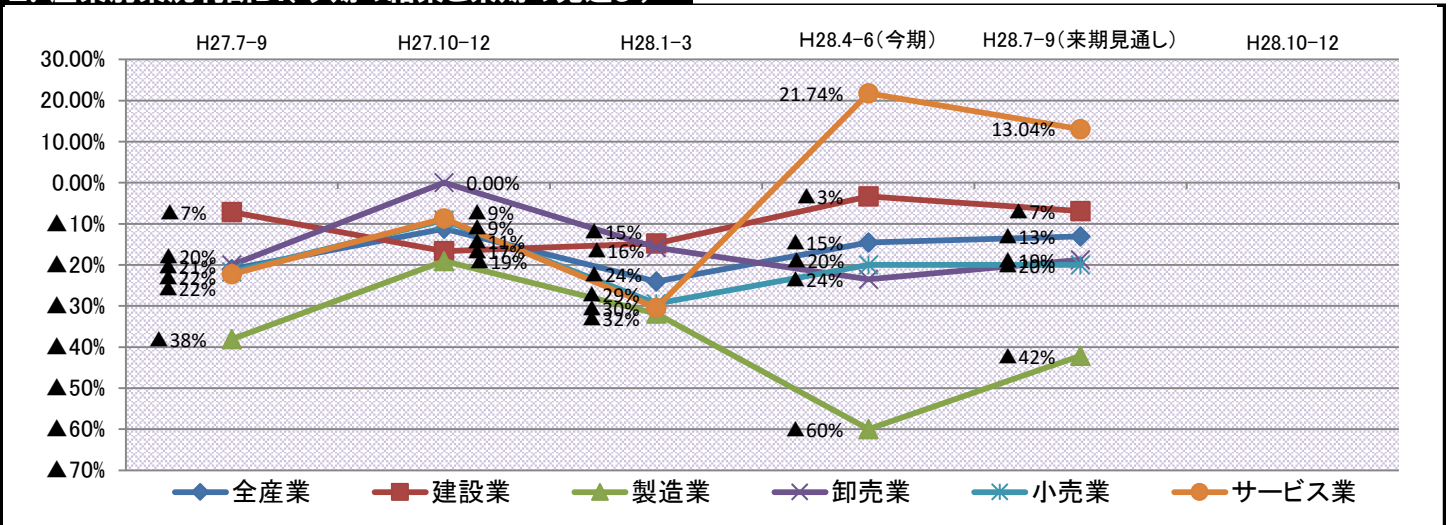
DATE

- 調査期間: 2016年5月24日～6月6日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業145社
- 有効回答企業数: 112社(77.24%)

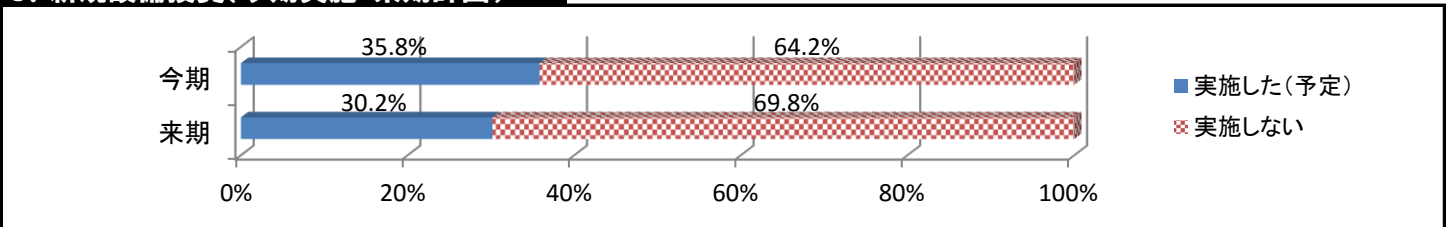
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲14.5%	9.53%	▲14.4%	10.81%	▲2.7%	13.96%	▲17.1%	14.41%	1.83%	▲5.5%
建設業	▲3.3%	11.48%	▲16.7%	9.26%	10.00%	25.38%	6.67%	43.70%	3.45%	▲7.7%
製造業	▲60.0%	▲28.2%	▲45.0%	▲13.2%	▲20.0%	▲6.4%	▲80.0%	▲43.6%	5.00%	▲13.2%
卸売業	▲23.5%	▲7.7%	▲11.8%	▲6.5%	5.88%	0.62%	▲11.8%	9.29%	▲5.9%	▲16.4%
小売業	▲20.0%	9.41%	▲23.8%	11.19%	▲28.6%	▲7.5%	▲28.6%	6.43%	▲5.0%	0.56%
サービス業	21.74%	52.17%	21.74%	47.83%	13.04%	49.41%	13.04%	39.13%	8.70%	8.70%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 15.7%	需要の停滞 18.6%	需要の停滞 22.2%	消費者ニーズの変化への対応 14.3%	利用者ニーズの変化への対応 19.0%
2位	熟練技術者の確保難 14.5%	製品(加工)単価の低下・上昇難 16.9%	販売単価の低下・上昇難 20.0%	需要の停滞 12.5%	人件費の増加 12.7%
3位	民間需要の停滞 13.3%	従業員の確保難 11.9%	従業員の確保難 15.6%	販売単価の低下・上昇難 10.7%	従業員の確保難 12.7%
4位	下請業者の確保難 12.0%	製品ニーズの変化への対応 8.5%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 11.1%	仕入単価の上昇 10.7%	熟練従業員の確保難 9.5%